

AIが変える防災の世界 ～カオスマップを通して考える未来地図～

開始までしばらくお待ちください

概要 AI防災協議会は、産官学が一丸となって、AI・SNS等をはじめとする先端技術・ITインフラを活用することによって、災害に対するレジリエンスを向上させ、防災・減災にかかる課題解決を目指すことを目的としています。

会員数 法人会員 : 24社 特別会員 : 5社 有識者会員 : 9人
自治体会員 : 46団体 オブザーバー : 10団体 地域防災会員 : 3団体



*2025年9月時点

理事長 白田裕一郎

AI防災協議会と防災DX官民共創協議会

2022年12月にデジタル庁が発足した防災DX官民共創協議会に、AI防災協議会も発起団体として参画し、2023年4月に体制が決定。防災DX官民共創協議会の理事会、事務局、検討部会に、AI防災協議会会員が参加するなど、積極的に関与しています。

両団体兼任の役員

AI防災協議会

理事長	白田 裕一郎
常務理事	萩行 正嗣
理事	江口 清貴
理事	福島 直央
理事	瀬尾 英一
特別会員	行司 高博

防災DX官民共創協議会

理事長	
基盤形成部会	副部会長
専務理事	
課題特定部会	副部会長
市場形成部会	副部会長
自治体部会	部会長

本日のプログラム

第1部 ① 〈AI×防災〉の現在の立ち位置をカオスマップで表現（5分）

② 〈AI×防災〉カオスマップについてディスカッション（15分）

AIの進化（社会の中で利用されていく分野拡大を含む）の可能性について

第2部 「AI X 防災」で描く未来世界（50分）

パネリストに、自身が関心のある領域における未来予想図を語ってもらいつつ、その実現可能性や課題について、パネリストの皆様で議論。

パネリストの方にキーワードを用意。

質疑応答（10分）

AIが変える防災の世界 ～カオスマップを通して考える未来地図～



林 泰弘 PwCコンサルティング合同会社 執行役員 パートナー

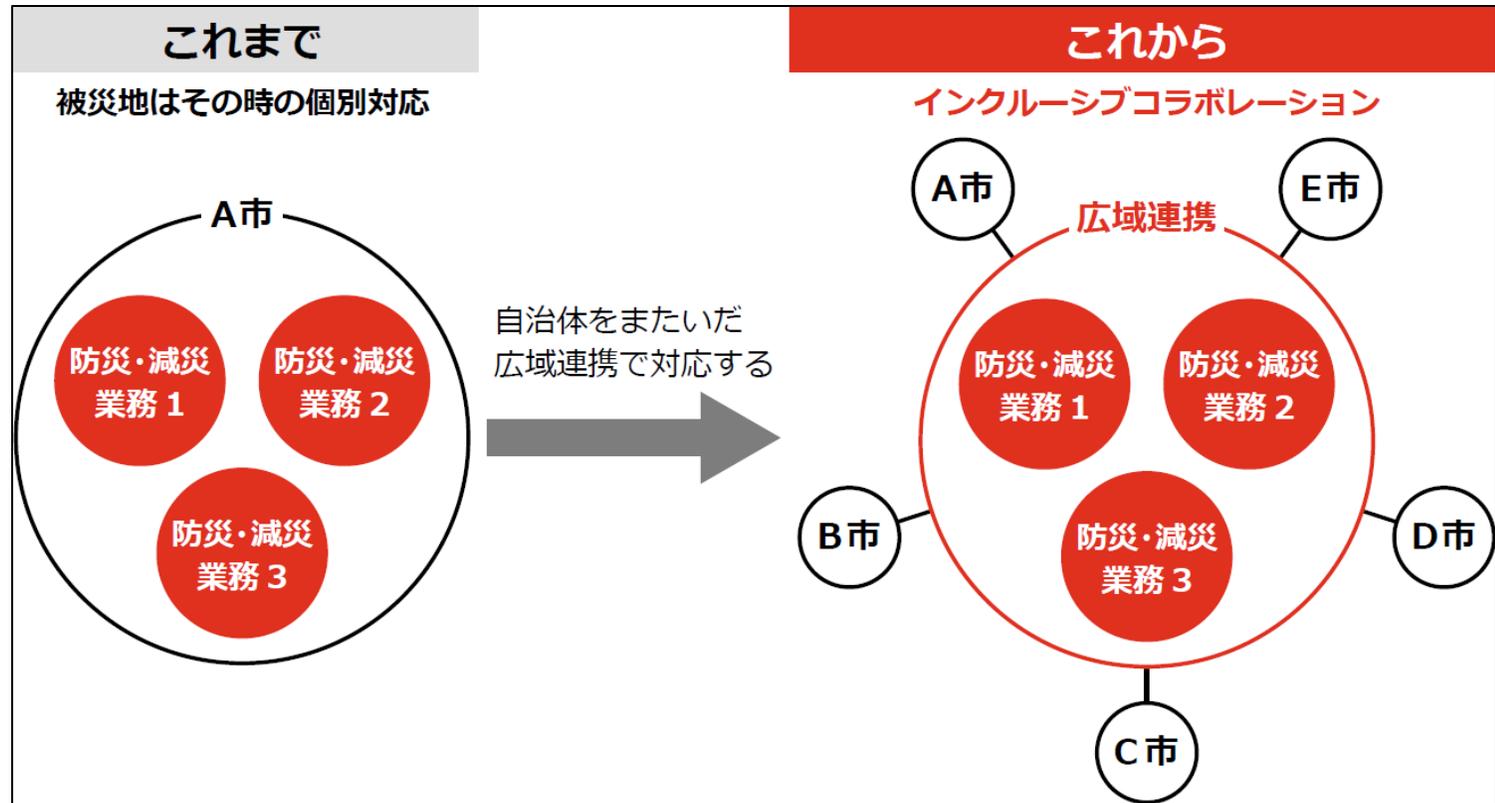
能登半島地震後に防災DXのメンバーとして石川県の支援に参画。それをきっかけとしてPwC内にResilience Initiativeチームを組成し活動を開始。AIを活用した「デジタル広域連携」による新たなコミュニティづくりにチャレンジ中。

2024年7月

Resilience Initiative発足



PwCの考えるデジタル広域連携のイメージ



AIが変える防災の世界 ～カオスマップを通して考える未来地図～



村上 建治郎 株式会社Spectee 代表取締役 CEO / AI防災協議会理事 / 防災士

ソニーグループ、シスコシステムズ等を経て、2011年東日本大震災の発生直後から災害ボランティア活動を続ける中で、被災地からの情報共有の脆弱性を実感。被災地の情報を迅速に伝え、被害状況を可視化する情報解析サービスの開発を目指し、株式会社Spectee（スペクティ）を創業。著書に『AI防災革命』（幻冬舎） / 『2040年の防災DX』（講談社）

AIリアルタイム防災・危機管理サービス『Spectee』



『AI防災革命』（幻冬舎）



『2040年の防災DX』（講談社）

AIが変える防災の世界 ～カオスマップを通して考える未来地図～



鈴木 智恵子 佐賀大学医学部看護学科 生涯発達看護学講座小児看護学領域 教授

小児看護学の教育・研究と災害支援ができる人材を育成する教育・研究を行っている。AIを活用し、災害弱者への支援体制の強化と減災を目指している。

< 科研費基盤C採択 >
XRを用いた災害支援ができる
看護人材育成プログラム構築

災害看護教育への活用
看護技術基礎教育への活用

<http://www.asahi.com/area/tetter/articles/NIK2019042329700001.html>

国交省研究 指定型課題と提案型課題(流域課題)
「早期避難ができる住民への行動変容と避難所における住民へのサポートができる人材育成のためのXR教育プログラム構築」

水害への慣れ 避難所って何？
どんなところ？ 避難者の世話や
健康管理は？

早期避難しない・したくない避難所

避難したくなる避難所づくり

自主防災組織の人材育成
ex) 避難所におけるゾーニング：ARを用いた教材
ex) 急変時の対応：360度動画による教材
避難所運営管理システム：健康管理アセスメント（今後AI導入検討中）

JST研究
「効率的な災害看護教育実施のためのXR技術の応用による教育システム開発とその事業可能性検証」

課題A：災害看護教育で育成すべき内容の吟味とシナリオ策定

分析・振分

課題B：災害看護に必要なスキル習得のためのARコンテンツ開発

課題C：災害看護に必要なスキル習得のためのVRコンテンツ開発

統合

課題D：教材としてのパッケージング・全体評価

がれきから救助するスキル

<現在準備中>

「AIを用いた避難所での健康アセスメントの開発」 (2025・10月から社会実装予定)

「AIを用いた避難ルートによる避難訓練コンテンツ」 (2025年~2026年、社会実装予定)

<これからの検討する取り組み>

「AIを用いた災害弱者ごとの避難ルート選択ができるコンテンツ開発」

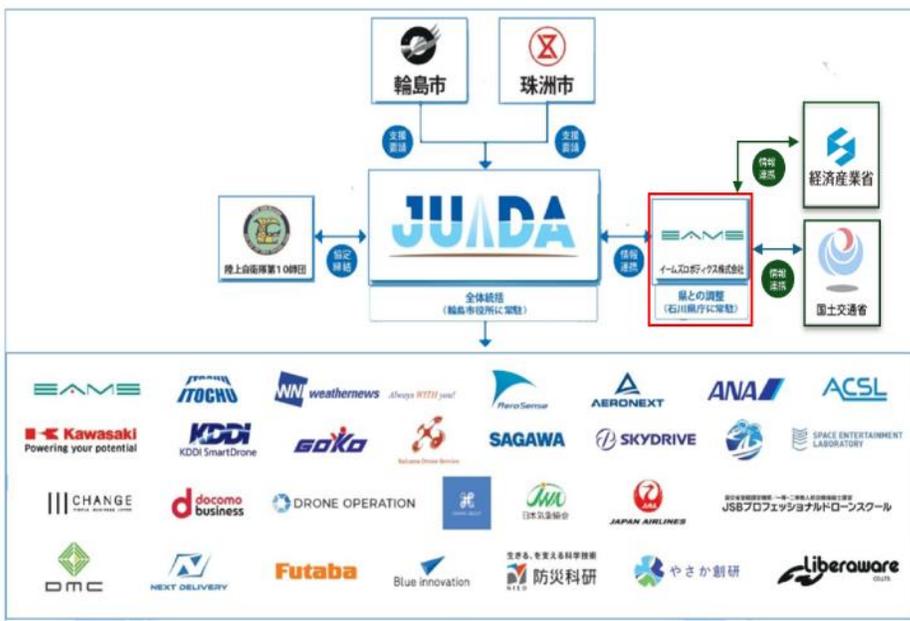
「最善の救出方法をAIで判断できる実装実験」

AIが変える防災の世界 ～カオスマップを通して考える未来地図～



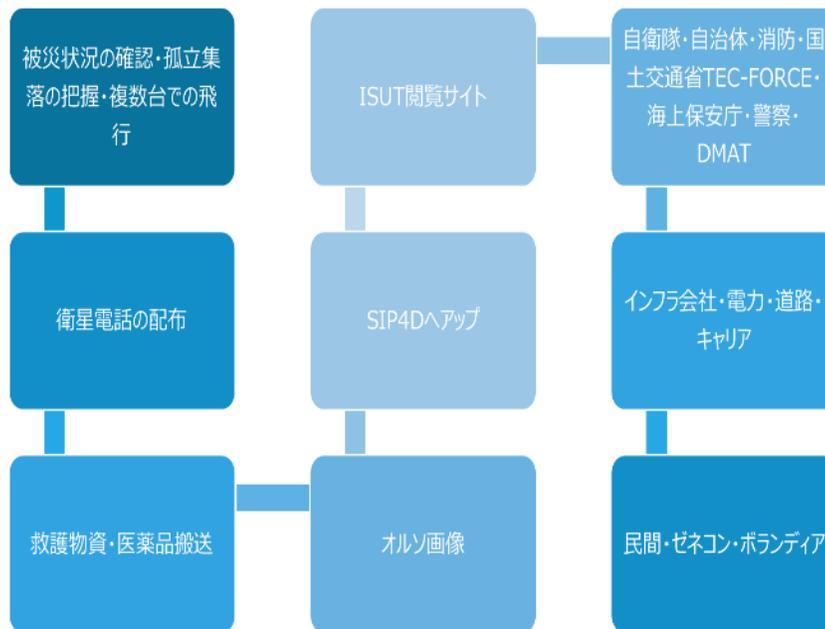
曾谷 英司 イームズロボティクス株式会社 代表取締役社長 /
JUAV(日本産業用無人航空機工業会) 理事 / ERA(環境ロボティクス協会) 理事 /
F A S(ふくしま次世代航空戦略推進協議会) 副会長

能登半島地震をはじめ災害支援や、数多くの防災訓練で培った実績のもとに、AIとドローン技術を融合し、捜索・被害把握・インフラ点検の迅速化を進め、災害対応の革新と被害の最小化を目指し、持続可能な防災・減災社会の実現に貢献。



能登半島に入ったドローン関連企業

広域災害の今後



ドローン活用の流れ



災害専用ドローンの開発

AIが変える防災の世界 ～カオスマップを通して考える未来地図～

ぼうさいこくたい2025 in 新潟



江口 清貴 AI防災協議会 理事 / 神奈川県CIO兼CDO / 防災DX官民共創協議会 専務理事 / 一般社団法人耐災害デジタルコーディネーションセンター 代表理事

行政・民間・研究の立場から防災DXを推進。AIを活用し、災害時に本当に必要な情報と支援が届く社会を目指す。

こういうことやりはじめてます

1. 官民連携デジタル支援コーディネート機能の提供

- ・災害発生時及び発災前、デジタルを用いた民間支援を円滑に実施するための民間⇔自治体間の調整
- ・災害発生時には、被災自治体のデジタル支援の受援体制の余裕はなく、調整を外部支援する必要
- ・自治体に対する民間企業の防災DX対策及び被災地支援のコーディネート

2. 災害時派遣デジタル支援チームの創設

- ・災害時にスキルと前提知識を持ったデジタル人材による現地派遣または被災地遠隔支援実施
- ・被災自治体のデジタル災害対応のサポートと組織間コーディネート

3. 災害時に使えるデータの整備と利活用ツールのデジタル公共財化

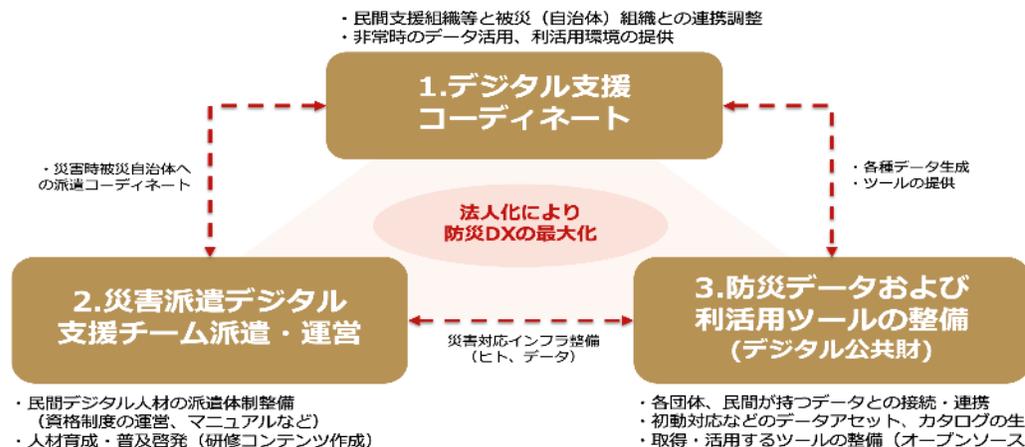
- ・事前、発災後に使えるデータカタログとデータ接続の整備
- ・派遣チームおよびツール群の整備



被災自治体への災害時のデジタル活動方針の策定支援



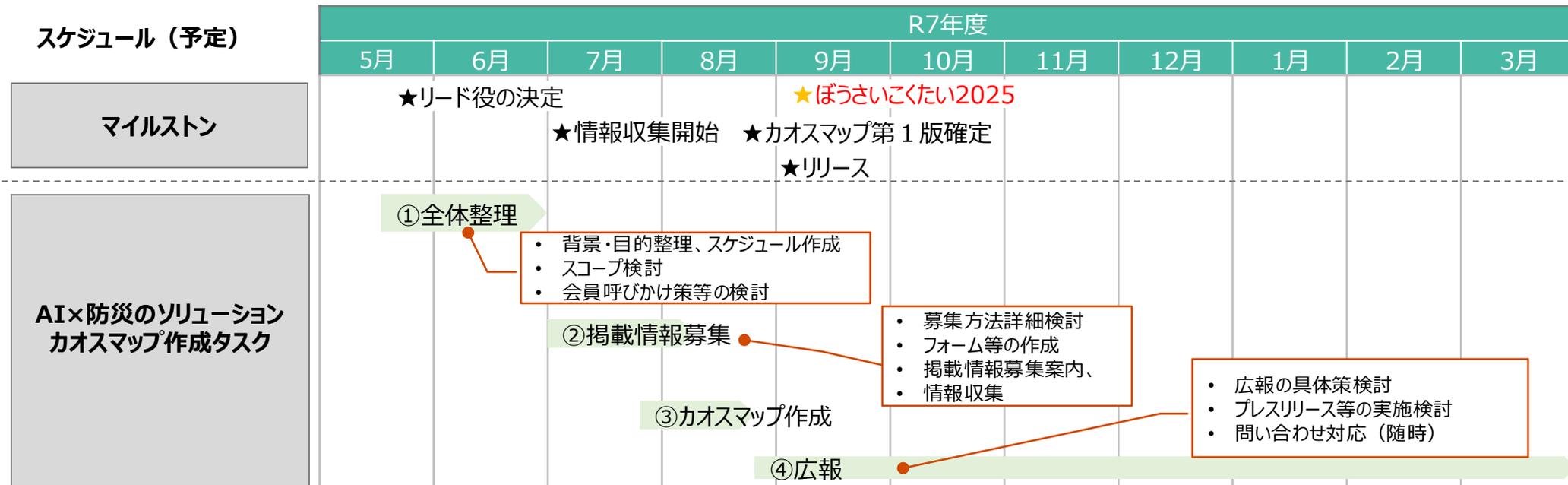
各災害支援機関同士のデータ連携調整の実施



〈AI×防災〉研究会 カオスマップ作成

〈AI×防災〉研究会：ソリューションカオスマップ作成PJ概要

概要	<ul style="list-style-type: none"> 防災に関するAIソリューションについて、これまでの調査研究成果や計画中の事例、すでにある国内外の事例および会員企業からの情報をもとに、カオスマップとして整理し公開する
目的	<ul style="list-style-type: none"> これまでの調査研究成果や計画中の事例、すでにある国内外の事例および会員企業からの情報によるAIソリューションを体系的に整理のうえ対外的に発信し、AIソリューションの認知度向上および導入促進を図ることで、防災施策の高度化等に資することを目的とする
その他	<ul style="list-style-type: none"> 「ぼうさいこくたい」等、各種イベントで周知するなど、効果的な広報施策を展開する予定 新たなテクノロジーや会員の製品開発等の動向を踏まえ、カオスマップは適宜見直し更新するものとする



データ収集・取得

データ前処理・基礎解析

予測・モデリング

画像・映像解析

時系列処理

自然言語技術

リアルタイム分析・

システム支援

JX通信社

FASTALERT
NewsDigest

Spectee
Spectee Pro

KDDI
KDDI Video Management Service

アースアイズ
火の見櫓AI

NTT e-Drone
アジア航測ANAFI Ai

JAXA
ALOS-2による観測

FUJIFILM
富士フイルムシステムサービス株式会社

罹災証明迅速化ソリューション

Spectee
Spectee Pro

PASCO
災害判読支援

中電工
CaaS

キャノンITソリューションズ
Bind Vision

丸紅I-DIGIO
TRASCOPE-AI河川監視

Google
Wildfire boundary tracking

EU Copernicus
Copernicus EMS Rapid

ALERTCalifornia
AI火災検知

Pano AI
Pano AI Wildfire Detection

Technosylva
Wildfire Analyst

Spectee

Spectee Pro

FBSS
罹災証明迅速化ソリューション

産業技術総合研究所
斜面災害リスク地域の可視化

Google
Flood Hub

ESRI
ArcGIS DL ダメージ判読

NASA
LHASA v2.0

ECMWF
AI Forecasting System

ORNIS
MAKING OCEANS SAFER

海洋レーダーによる津波検知

ORNIS
海洋レーダーによる津波検知

日本メディックス
Da Capo Version.8.00

WAVE1

防火管理AI診断

ORNIS
海洋レーダーによる津波検知

防災科学技術研究所
S-net

weathernews

防災チャットボット(SOCDA)

NTT東日本
シン・オートコール

ascent

Gconnected

三井住友海上/国際航業
防災ダッシュボード(MS&AD)

損保ジャパン
SOMPO

SORAレジリエンス

KDDI
防災マップボード

NEC
避難行動支援サービス

AGOOP
Kompreno

Dataminr
Dataminr FirstAlert

VACAN

避難所マネジメントシステム

ShareCrest

らくらく避難所

富士通
AI水管理予測システム

NTT
インフラの被災予測AI

日立製作所
流域治水 浸水被害予測システム

ID&Eホールディングス
AIによる洪水予測システム

DeepMind
GraphCast/GenCast

WMO
WMO AINPP

AIが変える防災の世界 ～カオスマップを通して考える未来地図～

【AI×防災】で描く未来地図



林 泰弘
PwCコンサルティング合同会社
「デジタル広域連携」



曽谷 英司
イームズロボティクス株式会社
「目視外自律飛行×AI解析」



村上 建治郎
株式会社Spectee
「完全自動化の災害対応」



江口 清貴
神奈川県CIO兼CDO
「
」



鈴木 智恵子
佐賀大学医学部看護学科
「AI×情報収集～
避難経路～避難所生活」